



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場取引所 名

上場会社名 名古屋電機工業株式会社

コード番号 6797 URL <http://www.nagoya-denki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 干場 敏明

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長

(氏名) 中村 昭秀

TEL 052-443-1111

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,809	△22.8	△231	—	△223	—	△288	—
24年3月期第1四半期	2,344	29.7	△506	—	△493	—	△500	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △308百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △506百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第1四半期	△47.95	—
24年3月期第1四半期	△83.11	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年3月期第1四半期	12,084	7,650	63.3	1,269.54
24年3月期	16,029	7,989	49.8	1,325.78

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 7,650百万円 24年3月期 7,989百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	—	—	5.00	5.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	4,870	0.4	△910	—	△910	—	△920	—	△152.67
通期	14,770	2.4	100	—	100	—	110	—	18.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	6,032,000 株	24年3月期	6,032,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	5,776 株	24年3月期	5,776 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	6,026,224 株	24年3月期1Q	6,026,244 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景として緩やかに回復しつつあるものの、欧州政府債務危機や海外景気の下振れ懸念、電力供給の制約やデフレの影響等により依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主要事業であり、官需を主とする情報装置事業につきましては、公共投資は堅調に推移しているものの、激しい競争のなか、その収益性については厳しい状況で推移しました。

また、民需を主とする検査装置事業につきましては、企業の設備投資は緩やかに持ち直しつつあり、受注と収益は堅調に推移しました。

このような状況のなか、当社グループでは、開発・製造・販売一体で受注の確保に努めるとともに、顧客対応力及びコスト管理の強化等々構造改革に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高18億9百万円（前年同期比22.8%減）、営業損失2億31百万円（前年同期は5億6百万円の損失）、経常損失2億23百万円（前年同期は4億93百万円の損失）、四半期純損失2億88百万円（前年同期は5億円の損失）となりました。また、当第1四半期連結会計期間の末日現在の受注残高は58億1百万円となりました。

なお、当社グループの主要事業である情報装置事業の大半は、官公庁向けの道路交通に関わる情報装置関連製品であり、例年、売上高は第4四半期、特に期末に集中する傾向がありますので、第1四半期連結累計期間の収益は、相対的に低水準となっております。

セグメントの概況につきましては、次のとおりです。

## ①情報装置事業

受注につきましては、高速道路会社向けの案件を中心に堅調に推移したものの、工期が長いため売上への寄与は小さく、また、収益につきましては、競争の激化により厳しい状況で推移しました。この結果、売上高16億35百万円（前年同期比25.2%減）、営業損失37百万円（前年同期は1億11百万円の損失）となりました。なお、利益につきましては、ほぼ均等に発生する固定費に対して、売上高が期末に集中するといった季節的変動が大きいことから、第1四半期連結累計期間では、赤字計上となっております。

## ②検査装置事業

企業の検査装置分野向けの設備投資は、自動車産業を中心として緩やかに持ち直しつつあり、受注及び売上は堅調に推移しました。この結果、売上高1億74百万円（前年同期比9.5%増）、営業損失50百万円（前年同期は1億38百万円の損失）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産は120億84百万円となり、前連結会計年度末と比較して39億44百万円の減少となりました。

流動資産は82億58百万円となり、前連結会計年度末と比較して38億51百万円の減少となりました。これは、主として現金及び預金が28億47百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が68億19百万円減少したことによるものです。

固定資産は38億26百万円となり前連結会計年度末と比較して92百万円の減少となりました。これは、有形固定資産が40百万円減少したこと、投資有価証券が38百万円減少したことによるものです。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は44億34百万円となり、前連結会計年度末と比較して36億5百万円の減少となりました。

流動負債は34億44百万円となり、前連結会計年度末と比較して36億円の減少となりました。これは、主として短期借入金が増加したこと、未払金が9億66百万円減少したことによるものです。

固定負債は9億89百万円となり、前連結会計年度末と比較して5百万円の減少となりました。これは、主として退職給付引当金が増加したものの、役員退職慰労引当金が11百万円減少したことによるものです。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は76億50百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億38百万円の減少となりました。これは、主として利益剰余金が3億19百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、当初予定どおり連結売上高147億円、連結経常利益1億円、連結当期純利益1億10百万円を見込んでおります

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更が損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,608,292	4,456,056
受取手形及び売掛金	8,549,265	1,729,922
製品	4,137	2,830
仕掛品	983,372	932,569
原材料及び貯蔵品	734,525	856,548
その他	235,507	280,128
貸倒引当金	△5,232	—
流動資産合計	12,109,869	8,258,056
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,882,330	1,882,330
その他(純額)	775,815	734,850
有形固定資産合計	2,658,145	2,617,180
無形固定資産	268,715	258,167
投資その他の資産		
投資有価証券	868,880	830,780
その他	123,581	120,539
投資その他の資産合計	992,461	951,320
固定資産合計	3,919,322	3,826,668
資産合計	16,029,192	12,084,724

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,253,340	1,907,434
短期借入金	2,300,000	—
未払法人税等	18,200	4,658
賞与引当金	272,830	165,618
製品保証引当金	50,833	34,271
工事損失引当金	275,265	285,821
前受金	474,388	658,458
その他	1,400,563	388,679
流動負債合計	7,045,421	3,444,942
固定負債		
退職給付引当金	918,707	925,364
役員退職慰労引当金	61,810	50,290
その他	13,779	13,621
固定負債合計	994,297	989,275
負債合計	8,039,719	4,434,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,100,005	1,100,005
資本剰余金	1,020,375	1,020,375
利益剰余金	5,819,574	5,500,504
自己株式	△3,390	△3,390
株主資本合計	7,936,564	7,617,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52,908	33,012
その他の包括利益累計額合計	52,908	33,012
純資産合計	7,989,472	7,650,506
負債純資産合計	16,029,192	12,084,724

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	2,344,591	1,809,569
売上原価	2,328,784	1,594,165
売上総利益	15,806	215,404
販売費及び一般管理費	522,272	446,447
営業損失(△)	△506,465	△231,042
営業外収益		
受取配当金	8,194	8,374
その他	8,025	3,753
営業外収益合計	16,219	12,128
営業外費用		
支払利息	495	1,066
支払手数料	719	1,097
支払保証料	1,725	1,971
その他	—	78
営業外費用合計	2,940	4,214
経常損失(△)	△493,185	△223,129
特別利益		
固定資産売却益	327	2,307
特別利益合計	327	2,307
特別損失		
投資有価証券評価損	—	6,847
固定資産売却損	771	5,723
固定資産除却損	3,018	2
特別損失合計	3,789	12,572
税金等調整前四半期純損失(△)	△496,648	△233,394
法人税、住民税及び事業税	3,064	3,126
法人税等調整額	1,112	52,418
法人税等合計	4,176	55,544
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△500,824	△288,939
四半期純損失(△)	△500,824	△288,939



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△500,824	△288,939
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,146	△19,895
その他の包括利益合計	△6,146	△19,895
四半期包括利益	△506,970	△308,834
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△506,970	△308,834

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報

## I. 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報装置事業	検査装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,185,469	159,121	2,344,591	—	2,344,591
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,185,469	159,121	2,344,591	—	2,344,591
セグメント損失(△)	△111,108	△138,755	△249,863	△256,601	△506,465

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額△256,601千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△256,601千円であり、主に報告セグメントに帰属しない管理部門及び研究開発部門に係る費用であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II. 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報装置事業	検査装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,635,313	174,255	1,809,569	—	1,809,569
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,635,313	174,255	1,809,569	—	1,809,569
セグメント損失(△)	△37,306	△50,665	△87,972	△143,070	△231,042

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額△143,070千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△143,070千円であり、主に報告セグメントに帰属しない管理部門及び研究開発部門に係る費用であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。